

2011年 安全報告書



富士急静岡バス株式会社

■社長挨拶

いつも富士急静岡バス(株)をご利用いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より当社バス事業にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。当社は経営理念の第一に「関係法令等の遵守」「安全最優先の原則」「安全管理体制の継続的改善等の実施」に努めております。

本報告書は、平成21年10月16日付け「自動車運送事業者における運輸安全マネジメント等の実施について」に基づき、富士急静岡バス(株)における輸送の安全確保への取り組みなどについて取りまとめたもので、ご利用されるお客様にご理解いただくと共に、皆様の声を今後の安全輸送に役立てたいと思い作成いたしました。皆様に本報告書をご覧いただき、ご意見を頂戴できれば幸いに存じます。

富士急静岡バス株式会社

取締役社長 三浦政秀

富士急静岡バス株式会社は輸送の安全を確保するために、下記に示す富士急グループの安全方針に則り、全社員一丸となって無事故に取り組みます。

■2010年度安全方針

1. 安全の確保

安全が全てに優先します。安全が阻害されることのないよう絶えず注視し、120%の安全の確保に努めます。

2. 法令の遵守

法令及び諸規則の遵守はもとより、良識をもって、誠実に行動します。また反社会的勢力や団体とは関係いたしません。

3. 安全管理体制の継続的改善

社内体制は継続的に見直し、事故を起こさない体制にしていきます。

■2011 年度安全方針

1. 輸送の安全に関する法令を遵守し、安全を第一とします。
2. 安全の上に築く我が社の繁栄と我が家の幸福
3. 今、現在の安全対策に満足せず、さらなるレベルアップを図ります。

■輸送の安全に関する基本方針

1. 社長及び役員は輸送の安全確保が当社の事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全確保に主導的な役割を果たします。
2. 社長及び役員は、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分踏まえつつ、従業員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
3. 当社は輸送の安全に関する計画の策定、実施、監査、改善を実行するとともに安全対策を常に見直し、全従業員が心を一つにして業務を遂行し、輸送の安全向上に努めます。また輸送の安全に関する情報を積極的に公表いたします。

■輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

平成23年4月1日現在の安全統括管理者は 専務取締役 土屋忠男 です。

なお、輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統は別紙のとおりです。

1. 安全管理体制組織図 別紙
2. 緊急連絡系統図 別紙

■2011年度の輸送の安全に関する目標

- | | |
|---------|---------|
| ①重大責任事故 | 0件 |
| ②車内事故 | 0件 |
| ③責任事故 | 前年比50%減 |
| ④飲酒運転 | 0件 |

■2010年度の輸送の安全に関する目標に対する達成状況

- | | | | |
|---------|---------|----|------|
| ①重大責任事故 | 0件 | 実績 | 0件 |
| ②車内事故 | 0件 | 実績 | 0件 |
| ③責任事故 | 前年比50%減 | 実績 | 58%減 |
| ④飲酒運転 | 0件 | 実績 | 0件 |

■ 2010年度の自動車事故報告規則第2条に規定する事故

平成22年4月1日～平成23年3月31日の間にはありません。

■ 輸送の安全に関する重点施策

1. 輸送の安全の確保が最重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を巡視いたします。
2. 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行えるよう努めます。
3. 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正処置又は予防処置を講じます。
4. 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を速やかに伝達し、共有いたします。
5. 輸送の安全に関する教育及び訓練に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施いたします。

■ 2011年度の輸送の安全に関する計画

1. 教育計画

- ① 運転士に対し年間教育計画に基づき教育を実施します。新入社員については、専属の指導員が付き添い、乗務時間、乗務キロ及び当人の熟練度を勘案した教育を行います。また、富士急本社において合同の入社1年未満の運転士教育に参加しております。上記以外の教育は下記のとおりです。
 - ・安全運転中央研修所への派遣（年1回）
 - ・運行管理者基礎講習の受講（年2回）
 - ・交通事故救命救急法教育（年1回）
- ② ドライブレコーダー・デジタルタコグラフを活用した教育を実施します。
- ③ 吉原中央駅、富士駅、富士宮駅などバスターミナルでの街頭指導及び添乗指導を実施します。
- ④ 責任事故は事例毎に事故分析を行い、発生原因を究明して再発防止策を講じます。
また、富士急本社において事故惹起者を対象とした教育に参加します。
- ⑤ 社長及び役員は定期的に運転士などと直接対話を行う懇談会を実施します。
- ⑥ 社長、役員及び幹部職員による早朝点呼を毎月実施します。
- ⑦ 本社職員及び運行管理部門などに運輸安全マネジメントに関する教育を実施します。
- ⑧ 自動車事故対策機構（NASVA）による運輸安全マネジメント評価を活用し、第三者の目から見た評価を受けます。

2. 内部監査

①計画

本社管理部門、本社営業所・・・年1回実施します。

②監査人

富士急行株式会社監査役及び交通事業部安全CS担当

③監査目的

- ・関係法令や安全管理規程等への適合性
- ・重点施策等の実施状況及び有効性
- ・前年度指導事項に対する改善状況

3. 安全に対する運動

- | | |
|---------------|------------------|
| ①4月1日～6月末 | 安全運転コンクール |
| ②4月上旬 | 春の全国交通安全運動 |
| ③4月下旬～5月上旬 | ゴールデンウィークの事故防止運動 |
| ④7月下旬～8月下旬 | 夏季輸送、安全・サービス向上運動 |
| ⑤9月下旬 | 秋の全国交通安全運動 |
| ⑥10月1日～12月31日 | 交通事故防止コンクール |
| ⑦12月上旬～1月下旬 | 年末年始輸送安全総点検 |

4. 会議など

- (1) 毎月1回、安全統括管理者主催の「安全推進会議」を開催します。会議メンバーは安全統括管理者、経営管理部門である業務部長、現業部門として営業所長、所長代理、運転助役で構成され、当月に発生した事故分析、運輸安全マネジメントの進捗状況の確認をします。
- (2) 毎月1回、会社と従業員による「安全部会」を開催します。会議メンバーは安全統括管理者、統括運行管理者、経営管理部門である業務部長、現業部門として営業所長及び乗合、貸切、高速の運転士代表者で構成され、ドライブレコーダーの活用、当月に発生した事故分析を行います。
- (3) 産業医による運転士の個人相談を行います。

■輸送の安全に関する予算等実績額

1. 2010年度の「輸送の安全に関する投資」の予算は下記のとおりです。

(1) ドライブレコーダー搭載、新型高速バス車両
リース車両 1両

(2) ドライブレコーダー 3機
1,140千円

2. 2011年度の「輸送の安全に関する投資」の予算は下記のとおりです。

(1) コミュニティバス新型乗合車両 2両
40,000千円

(2) ドライブレコーダー 15機
5,700千円



■輸送の安全に関する内部監査結果及び措置内容

1. 実施日 平成22年9月22日

2. 対象箇所 本社営業所、富士宮営業所

3. 監査人 富士急行株式会社 監査役 矢野勝
富士急行株式会社 交通事業部安全CS担当調査役
舟久保功一 堀内安和

4. 重点監査事項

- ・関係法令や安全管理規程等への適合性
- ・重点施策等の実施状況及び有効性
- ・前年度指導事項に対する改善状況

5. 監査結果（指摘事項）

運転士の班別会議を実施していない。定期的を実施し、記録をとること。

対応：毎月班長に班別会議の内容を報告させることにしました。

以上